

1 学校教育目標

人間尊重を基盤として、豊かな知性と創造性に富み、自主的、自立精神に充ちた心身ともに健康な児童を育成する。

2 めざす児童像と具体目標

- 進んで学び合う子 ・よくきき、しっかりと考え、進んで自分の考えを表現する。
- 思いやりのある子 ・自分も相手も大切にし、相手の気持ちを考えて行動する。
- たくましく生きる子 ・健康・安全な生活に心がけ、困難なことにも最後まで取り組む。

3 経営の方針

- (1) 人権教育を経営基盤として、子どもの思い・願いに寄り添い、子どものよりよい学びを意識し、豊かな心（強くしなやかな心）、確かな学力、健やかな体を育む。
- (2) ていねいな子ども理解を大切にし、子どもの目的意識を高め、子どもの学びや育ちを中心に据えた魅力ある教育活動を展開する。
- (3) 全教職員が対話と信頼を基盤とした協力体制を確立し、自分のもてる力を最大限に発揮し、チーム平島小学校として教育目標の具現化をめざす。
- (4) 保護者・地域との連携を深め、本校教育（めざす児童）について共通理解するとともに、地域とともにある学校づくりを推進する。
- (5) 業務改善やワークライフバランスを推進し、誰もが働きやすく、働きがいのある職場環境づくりに努め、教職員自身の「ウェルビーイング」を実現する。

4 本年度の重点目標と具体策

- (1) ていねいな子ども理解にもとづいた人権教育、特別支援教育、生徒指導を推進する。
 - ・子どもの思いや気持ちに寄り添い、子どもの学びと育ちを支援する姿勢をもつ。
 - ・教職員全員で子どもを見守り、いろいろな視点から情報交換をする。
 - ・自他を大切にし、自己有用感にもとづいた自尊感情を実感できるようにする。
- (2) 常に「子どものために」「子どもにとって」という視点から教育活動を見直し、子どもにとって魅力ある学習内容、学びやすい教育環境を整える。
 - ・子どもの目的意識を大切にし、子どもの思考にそった教育活動を実践する。
 - ・教室環境等を整備し、子どもが学びやすく、活動しやすい環境を整える。
 - ・常に学校行事や教育活動の成果と課題を明らかにし見直し、その価値や教育的意義を高めていく。
- (3) 教職員の資質向上を図るため、子ども理解、授業力の向上、ICTの活用についての研修を充実させ、主体的・対話的で深い学びを具現化する。
 - ・授業研究会を通して、「言葉を大切にし、自律的に学ぶ子ども」を意識した授業改善や授業力向上を図る。
 - ・効果的にICTを活用し、子どもの自律的な学習を推進する。
 - ・教科担任制のよさを生かし、組織的な指導体制を築く。
- (4) 子どもの健康と命を守り、子ども・保護者・地域から信頼される学校づくりをする。
 - ・自らの生活やまわりの環境を常に見直し、健康・安全に対する意識をさらに高める。
 - ・校内外の子どもの安全について常に点検し、迅速にその改善に対応する。
 - ・HPや通信等を活用し、子どもの様子や教育活動についてわかりやすく伝える。
- (5) 内容の軽重を考え効率よく職務を遂行し、超過勤務をできるだけ少なくする。一人の負担になることなく組織として職務に取り組み、働きがいを感じられるような職場環境づくりをする。